



# 市沢地区



人口 8,560人



6歳未満児数(率) 479人(5.6%)



世帯数 3,541世帯



高齢者数(率) 1,571人(18.4%)



出生数 58人

## 左近山地域ケアプラザ地域

### 懇談会開催日

- 第1回目 平成16年 9月28日
- 第2回目 平成16年11月 9日
- 第3回目 平成17年 1月12日



## 支えあい連絡会開催日

- 第1回目 平成17年10月 6日
- 第2回目 平成17年11月10日
- 第3回目 平成17年11月25日

## 地域の主な福祉保健活動

- ◆ 子育て支援・親子交流事業
- ◆ 市沢健康クラブ
- ◆ 市沢フェスタ

様々な取り組みや活動の中から、子育て支援、高齢者・障害者支援、世代間交流の3つの視点で主な活動を掲載しています。

## 当面取り組む地域の課題

- 顔の見える関係が希薄になり、地区の世話役が減り自治会活動の継続が難しい
- 交通環境の悪化が生活環境にも支障をきたしている

地域懇談会で、これらの課題から取り組むことが話し合われました。

## 地域での具体的な取り組み

### 取り組みの目標・テーマ

### 安心感のある地域づくりを進める

#### 取り組みを進めるにあたっての大切にしたい点

地域にどんな人が住んでいるか知り合うところから関係づくりを進めていくことが、世話役を育むことにつながります。  
また、顔の見える関係があれば、いざというときの安心感も得られ、地域を大切に思う気持ちも自然に生まれてきます。

### 具体的な取り組み

### 男性料理教室などを開催し、地域のボランティアなどの発掘・育成をする



#### 懇談会参加者

連合自治会関係者	地区社会福祉協議会関係者
民生委員・児童委員	ボランティアグループ
子育てグループ関係者	小学校PTA関係者
障害者団体関係者	病院関係者
スポーツセンター職員	

## 目標 テーマ

### 安心感のある地域づくりを進める

#### 大切にしたい点

顔の見える関係をつくり、そこに住んでいる安心感を育む

地域にどんな人が住んでいるか知り合うところから関係づくりを進めていくことが、世話役を育むことにつながります。

また、顔の見える関係があれば、いざというときの安心感も得られ、地域を大切に思う気持ちも自然に生まれてきます。

#### 課題

顔の見える関係が希薄になり、  
地区の世話役が減り  
自治会町内会活動の継続が難しい

◇ひとり暮らし高齢者や障害児者、若い世代の家庭、独身者は、なかなか自治会町内会との接点が少ない

◇地域とのつながりも薄くなりがちで、地域にどんな方がいるかわからない

交通環境の悪化が生活環境にも  
支障をきたしている

◇高齢者や障害児者にとって、道の狭さや段差は、恐怖心をおこし家に引きこもる原因ともなっている

◇すべての人たちが自由に「移動できる権利」を考えることが必要



# 課題、目標テーマ

## 目標 テーマ

### 地域と施設との交流・協働を進める

#### 大切にしたい点

地域の資源や役割を知り、障害児者も地域の人と知り合う  
施設や病院も地域に開く機会をつくり、互いに知り合うことが大切です。そして、地域の資源や役割を知り、障害児者も地域の仲間として関係づくりができる地域になっていくことが大切です。

#### 課題

#### 施設と地域との連携推進

- ◇障害児者も地域の人と知り合いたいと願っている
- ◇地域にある施設や病院とも、情報を共有していく必要がある

## 目標 テーマ

### “市沢らしさ”の香る生活環境を守り活かす

#### 大切にしたい点

地域の資源を発掘・活用し、地域の良い取り組みに学び、暮らしやすい生活環境をつくる  
地域に残された自然環境や地域資源を再認識し、地域で工夫をしながら取り組んでいる例を学び、もっと生活の質が豊かに感じられる地域にしていくことが大切です。

#### 課題

#### 身近な自然環境が減り、 画一的な風景になりつつある

- ◇山桜の名所やホテルの出るスポット、市沢地域にはまだまだ自然が残され地域資源も豊富である
- ◇そういった地域の歴史や良いところを詳しく知っている地域の高齢者も大切な人的資源である

#### 暮らしやすい生活環境が 十分整っていない

- ◇商業施設など、生活の質が豊かだと感じられるものがほしい